

ボール蹴りゲーム（第1学年）

運動の特性

グループ対グループで得点を競い、的にボールを当てることが楽しいゲームである。また、的に当て方や守り方を工夫してゲームができる楽しさがある。

ボールを強く蹴り、狙った所に蹴ることを必要とするゲームである。

1 単元の目標

技能	・ねらったところにボールを蹴ったり、転がってくるボールに合わせて体を動かして止めたりすることができるようにする。
態度	・きまりを守って友達と仲良くゲームをすることができるようにする。 ・勝敗を素直に認めることができるようにする。
思考・判断	・楽しくゲームをし、蹴り方や攻め方を工夫することができるようにする。

2 2年間を見通した評価計画

	1 年生		2 年生	
	評価規準	具体的な児童の姿	評価規準	具体的な児童の姿
技能	・ボールを足の甲や内側で蹴ることができる。 ・ボールを強く蹴ることができる。	○狙ったところにボールを蹴っている。	・ボールを状況に応じて足の甲や内側で蹴ることができる。 ・狙った所にボールを蹴ったり、ボールを受けたり止めたりすることができる。	○チームで連携して、ディフェンスのいないスペースを作り、狙って蹴っている。 ○パスをつないで、スペースを作ることができる。
態度	・きまりを守り、友達と仲よくすすんでゲームに取り組もうとしている。 ・場の安全に気をつけてようとしている。 ・勝敗を素直に受け入れようとしている。	○きまりを理解し友達と楽しんでゲームに参加している。 ○用具の安全な扱い方がわかっている。 ○勝敗を素直に認め、あいさつをきちんとしている。	・きまりを守り、友達と仲よく進んでゲームに取り組もうとしている。 ・場の安全に気をつけてようとしている。 ・勝敗を素直に受け入れようとしている。	○きまりを理解し友達と声を掛け合いながら積極的にゲームに参加している。 ○友達と一緒に安全に用具の準備や片付けをしている。 ○勝敗を素直に認め、あいさつをきちんとしている。
思考・判断	・ゲームの行い方や攻め方を知らうとしている。	○ゲームを通して、どんな攻め方があるのかを考えて、いろいろな動きを試している。	・ゲームの行い方を選ぼうとしている。 ・攻め方を見つけようとしている。	○楽しくゲームができる場や得点方法など簡単な規則を選んでいる。 ○考えたり、試したりして、攻め方を見つけようとしている。

3 学習過程（6時間）

		知る・試す		慣れる・広げる		深める	
時		1	2	3	4	5	6
学習過程の工夫		学習の進め方を知る		ルールを守り、楽しくまと てゲームをする。		ルールを守り、チームで 協力してゲームをする。	
		集合・整列・挨拶・ウォーミングアップ（準備運動も含む）					
		①ルールを 知る。 ②ためして 遊ぶ。	①ためして 遊ぶ。	①まとあてゲー ムⅠのルール を知る。 ②ゲームⅠを楽し む。	①M まとあて ゲームⅠ<1> を楽しむ。 ②T 振り返り ③M まとあて ゲームⅠ<2> を楽しむ。	①まとあて ゲームⅡ のルール を知る。 ②ゲームⅡ を楽しむ。	①M ゲーム Ⅱ<1>を楽し む。 ②T 振り返り ③M ゲーム Ⅱ<2>を楽し む。
		整理運動・振り返り・挨拶・片付け					
ゲーム設定の工夫		・「強く蹴る」「狙って蹴る」ことを目的としたウォーミングアップ ①ボールなれゲーム ・4人で円になって、時間内にボールを回す。 ・2人でボールを蹴り合い、時間内で何回パスできるかを競う。 ②通せるかなゲーム ・ボールを蹴って、2つのコーンの間を通す。 ③当たるかなゲーム ・的にボールを当てる。 ・蹴り方を工夫できるように、足の甲や内側（インサイドキック）で蹴ることを意識させる。		・ゲーム<1>の後にタブレット端末で攻めや守りでよい動きや作戦を全体に紹介し、全体で練習する。 ・仲良くゲームを楽しむための言葉「きらきら言葉」を掲示し、ゲーム中に使えるようにする。仲良くゲームをするために、言葉がけができるようにする。		・みんなでゲームをすることの楽しさを感じさせる。また、これまでに発表してきた攻めや守りの動きを確認する。 ・コートを四面とり全員がゲームに参加する。 ・ゴールゾーンの的の数を増やし得点差をつける。	
		ここがねらい！ まとあてゲームに役立つ動きや約束を少しずつ取り入れていく。ゲームの特性を知り、意欲的に取り組むことができるようにする。		ここがねらい！ 振り返りの際に、タブレット端末を活用し、よい動きを確認することで、次のゲームに生かせる動きを全体で練習する。全員で同じ練習をし、担任がポイントを伝えながら動きの確認ができる。狙ったところに蹴ることができる力を身につけるウォーミングアップを行う。		ここがねらい！ （これまでに発表してきた攻めや守りの動きを確認しながら、）まとあてゲームを通して、みんなでゲームすることの楽しさや面白さを味わえるようにする。	

教師の指導・助言

(○評価規準に達していない児童 ◎評価規準以上の児童)

観点	学習状況		だれに	助言例
技能	ボールを蹴る	ボールを強く蹴れない	個人	○ボールを最後まで見て蹴ろう。 ◎思い切り足を後ろへ振り上げると強く蹴れるね。 ○ボールの横に踏み込んでみよう。 ○ボールの真ん中を蹴ろう。 ○3, 4歩助走をつけてみよう。 ○ココで(足の甲で)蹴ろう。
	的を狙う	的に当たらない	個人	○おへそを的に向けて蹴ってみよう。 ○相手がいないところでシュートをしよう。 ○どこに移動したら的に当てやすいかな。 ○上手に当てるにはどうしたらいいかな。 ○ボールを蹴る足と反対の足の位置が大切だよ。 ○支えている足のつま先を的に向けよう。
			チーム	○足の内側でパスしよう。 ○反対側にじゃまじゃまがないよ。パスしてみよう。 ◎●●くんのところはフリーだからパスをしたところがいいね。 ○パスをもらったら、じゃまじゃまが戻る前に的に当てよう。 ○じゃまじゃまがないところに自分で動いてパスをもらえば、狙いやすいよ。 ○今がチャンスだよ。 ◎相手をおびきよせてから、友達にパスをしたね。
	的を守る	蹴ったボールを守れない	個人	○よく見てもっと手を広げてみよう。 ○相手の足もとをよく見てみよう。 ○ボールを怖がらずに守ろう。 ○足を伸ばしてみよう。
			チーム	○誰がどの人を守るかきめよう。 ○どこを守るのか守る場所を決めよう。

態 度	き ま り が 守 れ な い	準備や片付けができない	チーム	○役割分担を決めてやろう。 ○集合が早くなって先生は嬉しいな。 ○ボールがきれいに片付けられていると気持ちがいいね。
		順番や決まりを守らない	チーム	○●●君が一番先頭だったよね。
		勝敗を素直に受け入れない	個人	○悔しい気持ちをもつことはとてもよくわかるよ。 ○その気持ちを忘れずに次も頑張っていこう。
	仲 良 く で き な い	認め合いが見られない	個人	○「どんまい」「ナイスシュート」「ナイスパス」「だいじょうぶ」「オッケー」などどんどん声を掛け合おう。
		言葉がけができない	個人	○チームで盛り上がる言葉をかけあっていこう。
	安 全 が 守 れ な い	安全の確認をしていない	個人	○周りをよく見てやろう。 ○楽しくゲームをするにはルールを守り、安全に気をつけてすることが大切だよ。
思 考 ・ 判 断	攻 め 方 の 工 夫 が で き な い	自分の意見のみで他人の意見に耳を向けない	個人	○いろいろな作戦を試してみよう。 ◎みんなの意見をまとめていていいね。
		ゲームのルールがわからない	個人	○先生と一緒に確かめよう。
		話し合いができない	個人	○友達のけり方やボールのつなぎ方でよかったなあと思うところを言ってみよう。それをまねよう。
			チーム	○友達のけり方やボールのつなぎ方で、うまくいったところはどこだろう。次のゲームでもしてみよう。 ○友達のけり方やボールのつなぎ方でうまくいかなかったところはどこだろう。どうしたらうまくできそうかな。チームで練習してみよう。